

# 河村発言を支持し 「南京」の真実を究明する国民運動 賛同署名

私は、日本国民の一人として、以下の認識と取り組みに賛同し、私の責任において、ここにその意思を表明いたします。

河村たかし名古屋市長は、平成24年2月20日、中国共産党南京市委員会の代表に、「南京で戦闘はあったがいわゆる南京事件はなかったのではないか」と語るとともに、「討論しつつ仲良くしていきたい」と提言しました。

- 一、河村市長の発言は、自己の見解を率直に述べつつもこれを押しつけず、討論を求めた妥当なものであり、この発言を支持します。
- 二、河村市長に対し、この発言の故に加えられている圧力や脅迫に強く抗議し、言論の自由を守るためにたたかいます。
- 三、南京市政府が姉妹都市交流を中断し、中国政府も制裁をほのめかしているのは極めて不当であり、これに抗議します。
- 四、日本政府は、中国の持ち出す「歴史認識」への屈服が国益を害してきたことを認め、今回の中国側の不当な対応に抗議すべきです。
- 五、日本政府は、「民間人の虐殺があった」とするような特定の認識に立つ政府見解を撤回し、判断を国民の間の研究と議論に委ねることを求めます。
- 六、昭和12年、南京陥落後に本当にあったことを、一切のタブーを排して究明し、「南京」の真実を明らかにする議論と言論を国民的に巻き起こします。

ふりがな	
お名前	
肩書き	
ご住所	〒
連絡方法 (mail 等)	
メッセージ・ご提言	
紹介団体	

河村発言を支持し「南京」の真実を究明する国民運動 よびかけ人代表 渡部昇一

<連絡先> 112-0005 東京都文京区水道 2-6-3-203  
新しい歴史教科書をつくる会気付「南京の真実国民運動」  
電話 03-6912-0047 / FAX03-6912-0048 / mail: nankin-kokumin@tsukurukai.com

\*この署名用紙は、「南京の真実国民運動」の公式ブログサイト (<http://ameblo.jp/nankinkokumin/>) からダウンロードできます。また、同サイトからメールで賛同署名を送ることも可能です。  
\*いただいた署名は河村市長にお届けし、この運動以外には使用しません。

# 河村発言を支持し 「南京」の真実を究明する国民運動 に奮ってご参加を！

〈国民へのよびかけ〉

河村たかし名古屋市長は2月20日、名古屋市を訪れた中国共産党南京市委員会の代表に対し、「通常の戦闘行為はあったが、いわゆる南京事件はなかったのではないか」と発言し、「互いに言うべきことを言って仲良くしていきたい」として討論を呼びかけました。

ところが南京市は名古屋市との姉妹都市交流を一時中断するという暴挙に出、中国共産党の機関紙人民日報は、「必ず代償を払うことになる」と恫喝まで行いました。日本政府も2月12日、藤村修官房長官が村山談話を踏襲するとして、「非戦闘員の殺害、略奪行為は否定できない」とする政府の立場が変わらないと述べています。

このような中国の対応や日本政府の見解はとんでもないことです。

私たちは断固として河村発言を支持するとともに、これを好機とし、南京事件の虚構による呪縛を解いて、日本の名誉を回復すべき時です。

そのためには、河村発言を支持し、南京事件究明のための情報を共有し、そして誤った政府見解の是正を求め、さらには世界に向けて正しい情報を発信していかなければなりません。

この国民運動には、日本の名誉と再生がかかっています。日本国民の皆さん、今こそ各地で立ち上がって声をあげ、どうか私たちとともに運動に取り組んでください。

平成24年4月

河村発言を支持し「南京」の真実を究明する国民運動  
(略称：南京の真実国民運動)  
よびかけ人代表 渡部昇一

## 南京の真実国民運動

〒112-0005 東京都文京区水道2-6-3-203 新しい歴史教科書をつくる会気付  
TEL: 03-6912-0047 FAX: 03-6912-0048  
公式ブログ: <http://ameblo.jp/nankinkokumin/> mail: nankin-kokumin@tsukurukai.com

# いわれなき「南京虐殺」の汚名をいかに雪ぐか そそ この問題を解決するのはあなた自身です！

〈南京の真実国民運動〉を推進するための

6つのお願い

## 1 「河村発言」への賛同署名を集めてください（署名用紙は裏面）

これが何よりも河村市長を支えることとなります。また多くの国民がこの問題について考えるきっかけとなります。国民一人ひとりが意思を示すことが大切です。署名が集まるほど、結果として中国や日本政府も「南京事件」について対応を考えざるを得なくなります。

## 2 議員・識者・各界著名人からの意思表示を

「河村発言」を支持する議員・識者・各界著名人の方は是非、氏名の公表を前提に賛同署名をお願いします。事務局に届き次第、本会ブログに掲載させていただきます。また、この運動に賛同いただいている皆様も、多くの議員・識者・著名人の署名が集まるよう、働きかけを行ってください。

## 3 賛同団体を募っています

この国のために日々活動している全国各地の諸団体も、賛同の声をあげてください。賛同団体リストに加えさせていただきたく、ご連絡をお待ちしております。

## 4 全国各地で集会・講演会・討論会を開催してください

3月6日に東京で緊急国民集会が開催されました。全国各地で集会・講演会・討論会を開催し、運動を広く全国で展開するきっかけにしましょう。規模の大小は問いません。ぜひ各地から声をあげてください。

## 5 ネットを媒体にして情報を広げてください

すでに公式ブログを開設しましたが、さらに中身を充実させていきます。ブログからも署名ができますので、この運動についてネットで発信・転送・紹介してください。

## 6 ご寄付をお願いします

この運動を大きく展開していくためにはやはり資金が必要となります。全国の皆様からのご寄付を、ぜひともお願いいたします。ご寄付は下記にて常時受けつけております。

- 郵便振替口座 記号番号：00190-9-596227  
加入者名：南京の真実国民運動
- 銀行口座 三菱東京UFJ銀行江戸川橋支店普通口座 0062560  
口座名義：南京の真実国民運動事務局長越後俊太郎

少しだけ、考えてみてください！ 本当にあったの？ 「南京虐殺」

6問6答

### Q 1 子供のころ教科書で「日本軍が30万人の南京市民を虐殺した」と習ったけど…？

**A** 昭和12年12月、日本軍が占領した直後の南京の人口は20万人で、30万人を殺すこと自体が不可能です。これだけでも教科書の記述がウソであることがわかりますね。その後も人口は20万人のまま推移し、南京占領から約1ヵ月後には、南京市の人口は25万人に増えていました。

### Q 2 「30万人」は多すぎるとしても、「虐殺」はあったんじゃないの？

**A** 当時の中国国民党は、南京戦を挟む1937年12月1日から38年10月24日までの間に、日本軍を非難する目的で外国人記者などに対して、約300回もの記者会見を行いました。ところが、その中でただの一度として「南京で市民の虐殺があった」「捕虜の不法殺害があった」などと述べていません。もし本当に虐殺があったなら、記者会見で全くふれないなど、ありえないことです。

### Q 3 でも、虐殺の証拠写真とか見たことあるよ？

**A** 南京虐殺の証拠であるとする写真が、日本や中国の多くの展示館や書籍に多数掲示されていますが、過去数十年の科学的な研究によって、その中にただの1点も南京虐殺を証明する写真は存在しないことが明らかになっています。国民党の専門の機関が組織的に取り組んで、インチキ写真を捏造したのです。

### Q 4 じゃあ、なぜいまだに「南京虐殺」があったとされているの？

**A** つきつめて言えば、日本政府が南京虐殺事件の存在を認め、検定で教科書に書かせ、新しい研究成果にも目をつぶって政府見解を改めようとしないうちに原因があります。真実がどうであれ、中国との外交問題を起こしたくないという間違った配慮のために、日本は世界から誤解を受け、また国益を大きく損なっています。

### Q 5 でも、中国とは今後ともつきあっていかなければならないからねえ…

**A** 中国が「南京」を外交カードにしているのは、日本国内に同調する勢力があるからです。日本国民が真実に目覚め、政府が毅然と「南京虐殺」はなかったと主張するようになれば、中国は「南京」を利用して日本に圧力を加えることができなくなり、この問題は両国間から自然と消えていきます。

### Q 6 なんとなくわかったような気がするけど、じゃあ私たちは何をすればいいの？

**A** まず「南京事件はなかったのではないか」「これについて話し合いたい」という河村発言を支持する署名をしてください。その上で周囲の人々にも働きかけて下さい。国民一人ひとりが関心を持ち、解決に向けて声を上げていくことが大切です。